



2020・4・11

第 370 号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

マスクをしていても抗議の声は上げられる

非常事態宣言で改憲論議を要求

与党はコロナ問題、緊急事態を口実に改憲論議を求める動きを強めています。

衆院憲法審査会の新藤義孝議員・与党筆頭幹事（自民）は3日、山花郁夫議員・野党筆頭幹事（立民）に、9日に審査会を開いて、新型コロナウイルスの感染が深刻化し、国会の機能が停止した場合に備えて、憲法審査会を開き、議員の任期延長も含めて国会機能を確保する方策を論議したいと提案しました。（山花氏持ち帰り）

公明党の齊藤幹事長も3日の記者会見で緊急事態条項は「今後の憲法改正のひとつの大きなテーマになりうる」と語りました。

さらに7日、安倍首相はコロナ問題での緊急事態発令の説明のために衆院議運委員会に出席した際、「緊急時に国家や国民がどのような役割を果たして、国難を乗り越えていくべきか、国会の憲法審査会の場で活発な議論が展開されることを期待したい」と語りました。

国民の要求無視の安倍コロナ対策

【青森県／青森県九条の会】 青森県九

九条の会ブックレット

「安倍改憲のねらいと危険性 —改憲発議阻止のために—」

はじめに 小森 陽一

講演

◇安倍改憲のねらいと危険性

—自衛隊明記論を中心にして

山内 敏弘

◇安倍改憲をめぐる新たな

情勢と阻止のたたかい

渡辺 治

あとがき 小沢 隆一

声明「草の根からの『改憲発議許さず』
の声で安倍改憲に終止符を」

A5版 68頁 定価 400円（〒別）

条の会は3日、青森市の駅前公園前で定例の「アベ政治を許さない」アピール行動に取り組みました。

ビュー、ビューと音を立てる強風の中、17人が参加。「私たちは、マスクはするが、黙らない」「こんな時だからこそ、声を上

げよう」「自粛と補償はセットで」とポスターを掲げてアピールしました。

参加した男性（70代）は、安倍首相が新型コロナウイルス拡大防止の支援として、布マスク2枚を配布すると発表したことに「バカでねえか」と憤ります。男性は、「周りで誰も止める人がいないことがおかしい。世界の笑いものになっている。きちんと補償をしろと、私たちが言いつづけることが大事だ」と力を込めました。

女性たちも黙っていません。「安倍政権のコロナ対策は国民の要求と全くかみ合っていない」「これまでの安倍政治の悪政がコロナ問題で表面化してきた。命を守る政治に変えないといけない」など、安倍政治を糾弾、退陣を求めました。

歌やトーク中心に切り替えて

【奈良県／奈良市9条の会交流会】奈良市九条の会交流会は3月31日、学園前街街宣行動を行いました。16名が参加しました。新型コロナ感染対応で、署名はやめて、チラシ配布と蟻の会の歌やトークでした。

新型コロナで重たい気分が「蟻の会の歌声は元気がでます」との参加者の声。参加者も一緒に歌声の輪に。今回、初めて歌われたのは、エノケンの歌「これが自由と言うものか」です。これは、1954年、当時はお笑いと言えば権力者を批判して笑わせる風潮が強く、彼はNHKラジオ番組の人気者で、その放送でこの歌を歌ったのです。それを聴いた吉田茂首相が圧力をかけてこの番組を止めさせ、NHK会長は更迭させられてしまったという曰く付きの歌です。替え歌の歌詞を熱心に読んでいた年配の男性がいました。

読みやすかったのでしょうか。「平和ってすてきだね」と。

長谷川義史さんの絵のチラシを「1年生の子どもが作った詩ですよ。読んでみて」と言う小学生が手にとって読んでくれました。中学生も受け取ってくれました。

横断幕に国連広場のイザヤの壁にかかっている言葉「彼らはその剣を鋤にその槍を鎌に打ち直し国は国に向かいて剣をあげず二度と戦うことを学ばない」を書きました。（「九条の会奈良県ネットワーク」）

会員に1人10名の署名目標

【長野県小諸市／憲法9条を守るこもろの会】浅間民主商工会（民商）が事務局を務める「憲法9条を守るこもろの会」は2月13日、役員会を開催。「改憲発議に反対する全国緊急署名」に取り組むこと、小諸市民に安倍改憲の危険性を知らせるチラシを作製することを決めました。

「こもろの会」は一昨年、「憲法9条を守る署名」（3000万人署名も含む）で、小諸市の有権者過半数を達成した経験を踏まえ、今回の全国緊急署名を3月中に1千人分を集めようと呼び掛ける訴えを送付。

小諸市民へのアピールチラシは、少女の笑顔の写真を配し、「みんなが笑顔の日本に」「憲法っていいかも」「いま、憲法を変える必要がありますか」など分かりやすいものを作製する準備を進めています。

（浅間・塩川士郎通信員・全国商工団体連合会「全国商工新聞」2月3日）

命と暮らし守るのが政治の役割

【石川県金沢市／安倍9条改憲NO! なんぶアクション】 金沢市の「安倍9条改憲NO! なんぶアクション」は1日、金沢市平和町で「改憲発議するな」スタンディングアピールを、雨の中行いました。仕事を終えた参加者がパネルやのぼりを持って次々に集まり、約20人になりました。

「安倍9条改憲NO!」の横断幕や「いのちを守る9条を守る」「9条変えずに政治を変えよう」など書いたパネルをかざしてアピールしました。

事務局の柴原和美さんらが交代でマイクを持って「新型コロナウイルス感染症から命と暮らしを守る政策をすぐに実行するのが政治の役割」「9条を守り戦争をさせない。子どもや孫に平和を伝えよう」「安倍政治を終らせよう」と訴えました。信号待ちの車や通行人の注目を集めていました。

何度も空襲を受けた経験踏まえ

【福岡県北九州市／安倍9条改憲NO! 八幡市民アクション】 安倍9条改憲NO! 八幡市民アクションは3月28日、八幡西区のJR黒崎駅前「みんなで止めよう改憲発議」を掲げて市民集会を開きました。

雨が降る中、36人が集まり、のぼり、プラカードを掲げ、「改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけました。

参加した田村貴昭衆院議員は、新型コロナウイルス感染が広がる中、安倍首相が両院議員総会（17日）で改憲に固執する発言をしたことを批判。「国際紛争を解決する手段として武力の行使を禁じた日本国憲法

はアジアと世界のお手本だ」、「憲法を暮らしに生かしましょう」と訴えました。

嶋國勝事務局長は、八幡が空襲を何度も受けた地であることに触れ、「戦争は二度と起こしてはいけない。憲法9条を何としても守り抜きたい」と力を込めました。3000万人署名では、約1万9000人分の署名が集まったとし、緊急署名についても「広く市民に呼びかけていきたい」と話しました。

署名をした60代の男性は、9条改憲を狙う安倍首相を「許せない」と厳しく批判。自民党に代わる政権が必要だと話しました。

いまこそ多面的な活動を

【広島県／第九条の会ヒロシマ】 新型コロナウイルス感染を心配しつつ、広島県内でも総がかりの「安倍9条改憲NO! 憲法を活かそう」の活動を街角で、山間部では車の隊列で、様々に行われている。市民運動でも「中東派兵反対」「上関原発止めよう!」「『慰安婦』問題を解決しよう」と街頭宣伝を元気に行っている。初めてのフラワーデモに50人の参加があって主催者もビックリ。チラシは配布しないがスタンディングとマイクでのアピール、横断幕やプラカードの工夫をして、いつもより賑やかだったりする。

「河井疑惑をただす会」の活動も活発だ。広島地検は3月3日、河井克行前法相と妻の案里参院議員の公設秘書や政策秘書など3人を公選法違反で逮捕した。ただす会は、緊急の街頭宣伝に取り組み、鋭く、かつ広範に追及している。にもかかわらず案里議員は、説明責任を果たすどころか、知らない、差しつかえると無言を通し、議員を辞

めるとも自民党を離党するとも言わないが、連帯責任での辞職は免れないだろう。参議院広島3区の補選は10月の予定らしい。

(藤井純子・第九条の会世話人「第九条の会ヒロシマ」105号)

緊急署名推進へ体制確立し

【横浜市青葉区／青葉台地域九条の会】

○3月3日 「9条改憲NO!青葉区連絡会」の行動として、午後1時からたまプラーザでの定例駅頭宣伝を実施。つづいてあざみ野駅でカジノの住民投票受注者募集宣伝を2時間決行。この日をはじめ受注者募集は毎回参加者も多く、相当数の成果をえている。

○9の日定例行動(駅宣) 2時から青葉台駅で宣伝活動、久しぶりに11人が参加し、改憲発議反対の署名を集める活動で51筆の成果。カンパ1000円。(「青葉台地域九条の会ニュース」NO151)

【西東京市／9条の会等】 西東京市で改憲発議反対全国緊急署名すすめる連絡会が3月15日発足しました。団体、個人など21人の参加。事務局体制などをきちんと確立して署名運動をすすめようと論議しました。事務局は4人体制で、地城の9条の会も参加して進めることになりました。(「東京革新懇ニュース」4月5日)

米軍基地建設こそ不要不急

【大阪府吹田市／近藤頼信・71歳】 3月初め、沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設反対座り込み抗議に参加しました。

新型コロナウイルスの影響で、いつもは観光客でにぎわう那覇の国際通りは閑散と

していましたが、キャンプ・シュワブゲート前の抗議集会には多くの人が集まっていました。

さまざまなコールがあがる中、不要不急の外出は控えるよう呼びかける政府に対し、「辺野古の新基地こそ不要不急だ!」とコールする声がひととき高くとどろいていました。集会主催者から発言を求められたので、持参した「安倍9条改憲NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」を手に、「辺野古のたたかいと9条守るたたかいは、ともに立憲主義と民主主義を取り戻すたたかいです!」と訴えると大きな拍手が起こり、33人が署名をしてくれました。

「赤旗」4月1日、読者の広場」)

休校で級友の間でも政治論議

【埼玉県・高校生・17歳】 ウイルス危機の中、私の身の回りでは大きな変化があった。

みんながテレビや新聞、ネットで情報を収集している。政治家の対応などを批判し、意見を語る。政治の話なんて部活の友達としか経験がなかったが、今は同級生とも語り合う。今までになかったことだ。いまだかつてない一体感に、いいなと思う。

今の政治を批判する人は多いが、それを選んだのも国民自身だ。それも、低投票率の選挙でだ。

投票する人が増えれば日本も変わるかもしれない。

私も今年は18歳、日本の未来の選択者の一人として投票をしたい。(20年3月6日付 朝日新聞・声より抜粋)